

## 式 辞

柔らかな日差しの中、梅の花がほころび、春の息吹が感じられる季節となりました。

本日このよき日に、御来賓の方々並びに保護者の皆様に御臨席を賜り、令和七年度 京都府立宇治支援学校 高等部卒業証書授与式を挙行できますことを、心から感謝申し上げます。

卒業生のみなさんは、所定の学業を終えて、本校を巣立つ日を迎えました。

今、高等部での学びを振り返り、どのようなことが心に残っているでしょうか。

修学旅行の楽しい思い出、職場実習で得た手応え、仲間と一緒に取り組んだうじえんじよいフェスタでの達成感、地域で活動し感謝された時の喜び…。仲間や先生との忘れられない出来事も思い出されることでしょうか。

うまくできないことや、迷いや悩みが生まれる時もあったと思います。しかし皆さんは、昨日より今日、今日より明日と、なりたい自分の姿を目指し、前向きに努力を続けてきました。

今、皆さんが手にした卒業証書は、その努力と成長の確かな証です。どうか自信と誇りを持ってください。

同時に、皆さんのそばには、共に学び支え合った仲間、ご家庭で温かく見守り励ましてくださった保護者の皆様、そして地域で応援してくださった多くの方々がいました。どうか今日は、周囲の支えに対して「ありがとう」の気持ちを伝えてください。

皆さんは、一人一人が社会の大切な担い手です。卒業後も、自分らしく、人と共に歩み続けること、よりよくありたいと努力すること、よりよく生きようとする姿勢を大切にしてください。その姿が、これからの社会を確かに形づくっていきます。

保護者の皆様、お子さまのこれまでの成長を見守り、支えてこられたことに心より敬意を表します。本日の晴れの日を迎えられましたことを、教職員一同、心からお祝い申し上げます。また、本校の教育活動に対しまして、これまで格別のご理解とご協力を賜りましたことに、厚くお礼を申し上げます。

結びにあたり、梅が厳しい寒さを越えて花を咲かせるように、皆さんの未来も力強く、そしてあたたく花開くことを心より願い、式辞といたします。

令和八年 三月六日

京都府立宇治支援学校 校長 星川 涼華

令和七年度 京都府立宇治支援学校  
高等部 卒業証書授与式